

資 料

企業人事担当調査票

従業員調査票

高齢者の就業が見込める仕事、職務一覧

訓練受講生調査票

職業訓練指導員調査票

高齢者訓練用カリキュラム例

MQS調査票 (Mental Health-related Quality of Life Scale)

高齢者就業・能力開発に係る調査事例概要

企業人事担当調査票

平成12年12月

各位

雇用・能力開発機構
職業能力開発総合大学校
校長 戸田不二緒

高齢者がいきいきと働き続けていくための
職業能力開発のあり方についてのアンケート
調査ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊機構の事業に格別のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて現在、雇用・能力開発機構職業能力開発総合大学校では、労働省の高齢者ミレニアム・プロジェクト研究の一環として、「高齢者に対する訓練及び訓練手法のあり方についての研究」を実施しております。

ご存じのとおり急速な高齢化が進む中で、高齢者がそれまでの職業生活の中で長年に渡って培ってきた知識や経験を活かしつつ、年齢にかかわらず働き続けることができるための環境整備が強く求められています。また高齢者の雇用・就労の可能性をより一層高めるためには、高齢者の職業能力の付加価値を高めたり、今後雇用増が見込める新規・成長分野等へ誘導する必要があります。

このようなことから、本調査研究では、高齢者の就労を促進するため、高齢者の就労が可能な分野・部門・職種を把握し、その分野等において必要とされる職業能力を抽出するとともに、高齢者が培ってきた知識や経験を活かしながら就労するために効果的な職業訓練のあり方について、検討を行っております。

このたび、上記研究の一環として、高齢者就労に向けた職業能力開発のあり方について企業の皆様のお考えを伺うために、本アンケート調査を株式会社三菱総合研究所に委託し実施することになりました。

いただいたご回答はすべて統計的に処理しますので、個々の調査結果が公表されることは一切ございません。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

調査主体

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター

調査実施機関【問い合わせ先】

株式会社三菱総合研究所

回答にあたってのお願い

本アンケート調査は、「企業調査」（クリーム色）と「個人調査」（うす緑色）の2種類があります。

企業調査（クリーム色）

1. 回答は、できる限り事業主の方（社長）または人事・労務担当の役員の方にお願ひします。
2. 回答は、平成12年12月1日現在の状況をご記入ください。
3. 回答は、該当する番号を 印で囲むところと、具体的に数字や文章をご記入いただくところがあります。 印をつける数は質問によって「1つ」「すべて」のように指定してあります。設問の指示に従い、ご記入ください。
また、「その他（_____）」の場合は、（_____）内に具体的な内容をご記入下さい。
4. 数字等でご回答いただく際、正確にわからない場合は、おおよそで結構ですのでご記入ください。
5. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、
平成12年12月22日（金）まで
にご投函くださいますようお願い致します。

個人調査（うす緑色）

御社内の45歳以上の従業員の中から、次の表に示す数を目安にご回答に協力いただける方をご選定いただき、調査票を配布いただけますよう、お願い致します。配布の際は、本調査の趣旨をご説明の上、いただいた個々の調査結果が公表されることは一切ないことをお伝えください。また個々の方にご記入いただいた調査票は、返信用封筒（切手不要）にて平成12年12月22日（金）までに、ご回答いただいたご本人が各自ご投函くださいますよう、お願い致します。

表：個人調査の対象職種と人数

対象職種	人数
専門的・管理・事務部門	2～3人
生産部門（現業職）	2～3人
合 計	5人程度

（注）上記の人数はあくまで目安であり、御社の事情に応じて柔軟に配分ください。

労働省委託調査

企業調査

高齢者がいきいきと働き続けていくための 職業能力開発のあり方についてのアンケート

．はじめに、御社のことについてお伺いします。

- 問1 御社の業種は何ですか（主なもの1つに印をつけてください）
- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1．建設業 | 3．運輸業 |
| 1-1 総合工事（土木工事含む） | 4．通信業 |
| 1-2 職別工事 | 5．卸・小売業 |
| 1-3 設備工事（電気、通信含む） | 6．情報処理、ソフトウェア開発業 |
| 1-4 その他の建設業
（具体的に_____） | 7．対事業所サービス業
（放送、新聞、出版 など） |
| 2．製造業 | 8．専門サービス業
（法律、特許、会計、建築設計、
コンサルタント など） |
| 2-1 食料品、飲料・飼料、たばこ | 9．医療、社会福祉 |
| 2-2 繊維、衣服、その他繊維製品 | 10．その他
（具体的に_____） |
| 2-3 パルプ・紙・紙加工品 | |
| 2-4 化学工業、石油製品・石炭製品、
プラスチック製品製造 | |
| 2-5 鉄鋼業、非鉄金属、金属製品 | |
| 2-6 一般機械器具製造 | |
| 2-7 電気機械器具製造 | |
| 2-8 輸送用機械器具製造 | |
| 2-9 精密機械器具製造 | |
| 2-10 その他の製造業
（具体的に_____） | |

問2 御社の過去5年間程度の業績（売上高等）の推移、及び今後5年間程度の見通しについて、次の選択肢の中からそれぞれ最も近いものをお選びください。

a. 過去5年間 [____] b. 今後5年間 [____]

- 【選択肢】
1. 急速に伸びる（伸びた）
 2. 緩やかながら順調に推移する（した）
 3. ほぼ横ばいで推移する（した）
 4. 緩やかながら下降気味に推移する（した）
 5. かなり悪化して厳しい状況

問3 御社（支社や各事業所を含む全体）の従業員数（パート等を含む）は何人ですか。
（ _____ ）人 （うちパート _____ 人）

・御社における中高年齢者雇用の実状について、お伺いします。

問 4 御社（支社や各事業所を含む全体）の従業員の年齢構成をお教えてください。

	50歳未満	50歳代	60歳以上	合 計
現業部門	人	人	人	人
技術部門	人	人	人	人
事務部門	人	人	人	人

問 5 御社で過去3年間に受け入れた45歳以上の労働者の延べ人数を、受け入れ時の年齢別にご記入ください。また、その従業員は、どのような仕事の分野を担当していますか。下の<「仕事の分野」リスト>から選んでいくつでもご記入ください。

受け入れ時の年齢	出向・転籍・中途採用者数	担当している「仕事の分野」	主な仕事内容
a. 45～49歳	人		
b. 50～59歳	人		
c. 60歳以上	人		

<「仕事の分野」リスト>

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 専門的部門</p> <p>1. 管理職</p> <p>2. 技術者、研究開発、調査企画</p> <p>3. 法務・特許（弁護士・会計士など）</p> <p>4. その他の専門・技術的職業の仕事
（システムエンジニアなどを含む）</p> <p>(2) 事務部門</p> <p>5. 総務・経理など事務部門の管理職</p> <p>6. 事務一般</p> <p>7. 営業・販売支援部門</p> <p>8. その他の事務部門
（具体的に_____）</p> <p>(3) 営業・販売部門</p> <p>9. 管理職</p> <p>10. 営業、販売一般</p> <p>11. その他の営業・販売部門
（具体的に_____）</p> | <p>(4) 生産部門</p> <p>12. 管理職</p> <p>13. 生産・建設・土木の監督的な仕事</p> <p>14. 生産現業職（技能的な仕事）</p> <p>15. 建設現業職（技能的な仕事）</p> <p>16. 修理・保全の技能的な仕事</p> <p>17. その他の生産部門
（具体的に_____）</p> <p>(5) その他の部門</p> <p>18. 建物管理人・用務員・清掃</p> <p>19. 商品・在庫管理、倉庫の仕事</p> <p>20. 警備・守衛</p> <p>21. 運転手</p> <p>22. その他
（具体的に_____）</p> |
|---|---|

問 6 問 5 でお答えいただいた労働者を採用する際に重視した職業能力は、次のうちどれですか。業務の種類別に重視する順に第 1 位から第 3 位まで選んで、表の中に順位の数字を記入して下さい。

業務の種類 重視した職業能力	管理職 部門	管理職以外（現業部門）				
		専門的 部門	事務的 部門	営業・販売 部門	生産 部門	その他
a. 人脈形成・維持能力						
b. 対人関係構築能力						
c. 組織運営能力						
d. 組織統率能力・指導力						
e. 問題解決能力						
f. 理解力						
g. 口頭表現力						
h. 職業人としての倫理観						
i. 事務的作業の処理能力						
j. 新たな業務への対応力						
k. 業務改善・企画の提案力						
l. 専門的な業務分野の能力	-	-	-	-	-	-
l-1. 知識的な能力						
l-2. 技術的な能力						
l-3. 技能的な能力						
m. その他()						

問 7 問 5 でお答えいただいた労働者を採用する際に重視した条件は、次のうちどれですか。業務の種類別に重視する順に第 1 位から第 3 位まで選んで、表の中に順位の数字を記入して下さい。

業務の種類 重視した条件	管理職 部門	管理職以外（現業部門）				
		専門的 部門	事務的 部門	営業・販売 部門	生産 部門	その他
a. 担当職務の経験・知識等						
b. 職業能力（問 6 参照）						
c. 人脈、人的ネットワーク						
d. 資格保有状況						
e. 賃金						
f. 勤務時間等の就労条件						
g. 年齢						
h. 健康状態						
i. 人間性、協調性						
j. 好奇心、積極性						
k. 責任感、まじめさ						
l. リーダーシップ						
m. その他()						

・御社における高齢者雇用についての考え方について、お伺いします。

なおここでの「高齢者」とは「60歳以上」の方を指すとお考えください。

問 8 御社では、今後、高齢者の雇用をどのように進めていかれる予定ですか。

(最も近いもの1つに 印をつけてください)

1. 今現在積極的にやっており、今後も積極的に行う予定
 2. 今現在はやっていないが、今後、積極的にやる予定
 3. 未定、もしくは予定はない
- 問9へお進みください
- 問10へお進みください

問 9 御社で今後高齢者雇用を積極的に進めるのは、どういう理由からですか。

(あてはまるもの3つに 印をつけてください)

1. 高齢者の持っている知識、熟練技能や経験の活用が必要なため
それはどのような職業能力ですか (具体的に _____)
2. 高齢者の持っている人脈の活用が必要なため
3. 在職者の刺激になるので
4. 高齢者は定着率が良いため
5. 比較的低賃金で労働力が得られるため
6. 若年・中年層の採用が難しく、人手不足に対応するため
7. 親会社など関係他企業との関係を維持していくため
8. 高齢者の就業機会を提供し高齢者雇用促進という社会的要請に応えるため
9. 高齢者雇用に係る各種の助成金等が活用できるので
10. その他 (_____)

問11へお進みください

問10 御社で今後高齢者雇用を積極的に進める予定がないのは、どういう理由からですか。

(あてはまるもの3つに 印をつけてください)

1. 必要な職業能力を持った人が少ない
それはどのような職業能力ですか (具体的に _____)
2. 他社の職業経験を活用するのが難しい
3. 人間関係上の問題が発生しやすい
4. 高齢者は過去の経歴にこだわる
5. 人件費に見合った貢献をしない
6. 高齢者は生産性が低い、ミスが多い
7. 加齢による身体的能力の低下、体力・健康面の問題
8. 高齢者は定着率が悪い
9. 雇用期間が短いために、すぐに後任を見つけなければならない
10. 一人前の戦力になるまでに時間がかかる
11. 若年・中年層の採用で人手は充足できる
12. 高齢者に適した仕事がない
13. 高齢者に限らず、採用の予定はない
14. その他 (_____)

・今後、高齢者に求められる職業能力開発についてのお考えをお伺いします。

問11 今後、高齢者自身が能力開発を進めていく上で、どのような能力開発が必要だとお考えですか。就労のパターンごとに、問5の「仕事の分野」から該当すると思われる「仕事の分野」を1つ挙げ、その「仕事の分野」に求められる能力開発を重視する順に第1位から第3位まで選んで、表の中に順位の数字を記入して下さい。

就労パターン 問5の「仕事の分野」 求められる能力開発 (1つずつ選択)	経験をそのまま生かすことができる「仕事の分野」の就労	そのまま適用はできないが、経験を応用できる「仕事の分野」の就労	今までの経験とは無関係の、全く新たな「仕事の分野」の就労
1. 定型業務の処理能力			
2. 特定分野の専門知識・熟練技能			
3. 特定分野の公的資格等			
4. 幅広い分野にわたる知識など			
5. 新技術への適応力			
6. 判断力			
7. 新規企画や経営戦略の立案能力			
8. 職場管理能力・統率力			
9. 指導・育成能力			
10. 状況変化に対する対応能力			
11. 顧客との接客・対応能力			
12. 組織内・組織間の業務調整能力			
13. 外部との折衝・交渉能力			
14. 情報収集・処理能力			
15. 社外との人的ネットワーク			
16. 外国語能力			
17. 専門的コンピュータ-利用能力			
18. IT活用能力			
19. その他 ()			
20. その他 ()			
21. その他 ()			
22. その他 ()			
23. その他 ()			

問12 御社において、今後高齢者を雇用できる仕事内容として、どのようなものがありますか。また、その仕事を行うには、経験・知識あるいは職業能力がどれくらい必要ですか。下表の形式にしたがってお答えください。

高齢者が雇用可能な仕事の内容	経験・知識の必要度	必要な職業能力
	1. 極めて必要 ② かなり必要 3. あった方がよい程度 4. ほとんど必要ない	
	1. 極めて必要 2. かなり必要 3. あった方がよい程度 4. ほとんど必要ない	
	1. 極めて必要 2. かなり必要 3. あった方がよい程度 4. ほとんど必要ない	
	1. 極めて必要 2. かなり必要 3. あった方がよい程度 4. ほとんど必要ない	
	1. 極めて必要 2. かなり必要 3. あった方がよい程度 4. ほとんど必要ない	

該当するもの1つを選択してください。

<「職業能力」リスト>の中から
 該当するものをいくつでも選択
 してください。

<「職業能力」リスト>

- | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 定型業務の処理能力 | 9. 指導・育成能力 | 17. 専門的コンピュータ-利用能力 |
| 2. 特定分野の専門知識・熟練技能 | 10. 状況変化に対する対応能力 | 18. IT活用能力 |
| 3. 特定分野の公的資格等 | 11. 顧客との接客・対応能力 | 19. その他() |
| 4. 幅広い分野にわたる知識など | 12. 組織内・組織間の業務調整能力 | 20. その他() |
| 5. 新技術への適応力 | 13. 外部との折衝・交渉能力 | 21. その他() |
| 6. 判断力 | 14. 情報収集・処理能力 | 22. その他() |
| 7. 新規企画や経営戦略の立案能力 | 15. 社外との人的ネットワーク | 23. その他() |
| 8. 職場管理能力・統率力 | 16. 外国語能力 | |

問13 次ページの表は、政府が、今後成長したり新規創業があったりすると予測している産業分野の一覧です。

御社では、これらの分野への進出はお考えですか。(もうすでに進出している場合や進出予定も含まれます。)

(1) 事業の中核として進出している分野・事業 あるいは

(0) 部分的に進出している分野・事業

のそれぞれについて、該当する場合は記入欄の数字に 印をおつけください。

新規・成長15分野

分野	具体的な事業例	記入欄	
		(イ) 事業の中核として進出	(ロ) 部分的に進出
a. 医療・福祉	1. 医療・福祉機器開発・製造	1	2
	2. 医療・福祉関連サービス	1	2
	3. 医療技術・医薬品開発・製造	1	2
b. 生活文化	4. 生活文化関連商品開発・製造	1	2
	5. 生活・余暇・教養関連サービス	1	2
c. 情報・通信	6. ネットワーク・インフラ	1	2
	7. ネットワーク関連機器製造	1	2
	8. 情報ネットワーク活用サービス	1	2
	9. 情報化関連サービス	1	2
d. 新製造技術	10. 高度生産システム・新素材・新材料関連	1	2
e. 流通・物流	11. 物流インフラ・物流システム	1	2
f. 環境	12. 環境関連機器製造	1	2
	13. 環境関連サービス	1	2
	14. 環境調和型素材・サービス	1	2
g. ビジネス支援	15. アウトソーシング関連	1	2
	16. セキュリティ(保険、警備等)	1	2
h. 海洋	17. 海洋レジャー関連	1	2
	18. 海洋プラント関連	1	2
i. バイオテクノロジー	19. バイオテクノロジー活用	1	2
j. 都市環境整備	20. 都市開発関連	1	2
	21. 都市交通システム整備関連	1	2
k. 航空・宇宙	22. 航空関連	1	2
	23. 宇宙開発関連	1	2
l. 新エネルギー・省エネルギー	24. 新エネルギー・省エネルギー・システム関連	1	2
	25. 新エネルギー利用	1	2
m. 人材	26. 人材関連	1	2
n. 国際化	27. 人的・文化的国際交流関連	1	2
	28. 国際ビジネス関連	1	2
o. 住宅	29. 住宅資材製造	1	2
	30. 住宅流通	1	2
	31. 住宅サービス	1	2
[a~oの何れか] ()	32. その他(具体的に)	1	2
[a~oの何れか] ()	33. その他(具体的に)	1	2

該当する全ての産業・事業分野についてお答えください

問14 問13で「進出を考えている」とした分野への進出には、どのような職業能力が労働者に必要とお考えですか。下表にご記入ください。

問13の分野や事業	必要となる職業能力

・今後退職が予定される従業員に対しての御社の施策についてお伺いします。

問15 御社では、退職予定者に対する教育訓練を実施していますか。

該当する箇所すべてに 印をご記入ください。

教育訓練の内容	7. 実施しているもの
1. 基礎的な知識・技能の付与	1
2. 専門能力の更なる向上	2
3. 新技術、知識の習得	3
4. 職種転換への適応訓練	4
5. 適職開発、多能化教育	5
6. 資格取得の奨励	6
7. 再就職準備のための訓練	7
8. 健康管理、体力づくり	8
9. 生涯生活設計プログラム	9
10. 退職準備教育	10
11. 夫婦参加によるセミナー	11
12. 自己啓発	12
13. その他()	13

4. 実施方法									
1. 職場 ローテーション	2. 社内 の施設での 研修	3. 業界 団体の講 習会	4. 関連 会社の施 設	5. 民間 教育機 関	6. 公的 教育機 関	7. 専修 学校・ 専門学 校	8. 大学 ・大学 院	9. 通信 教育	10. 其 他の方 法
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問16 退職予定者に対する能力開発制度等が御社で実施されている場合、具体的にその内容をお教えてください。

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒(切手は不要です)にて12月22日(金)までにご投函ください。

研究内容をより深めるために、今回いただいたご回答内容について、今後インタビュー調査を計画しております。インタビュー調査にご協力いただける場合、お手数ですが御社名、ご記入いただいた方のご所属、お名前、連絡先電話番号をご記入下さい。

会社名		部署名	
お名前		電話番号	

従業員調査票

平成12年12月

各位

雇用・能力開発機構
職業能力開発総合大学校
校長 戸田不二緒

高齢者がいきいきと働き続けていくための 職業能力開発のあり方についてのアンケート 調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊機構の事業に格別のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて現在、雇用・能力開発機構職業能力開発総合大学校では、労働省の高齢者ミレニアム・プロジェクト研究の一環として、「高齢者に対する訓練及び訓練手法のあり方についての研究」を実施しております。

ご存じのとおり急速な高齢化が進む中で、高齢者がそれまでの職業生活の中で長年に渡って培ってきた知識や経験を活かしつつ、年齢にかかわらず働き続けることができるための環境整備が強く求められています。

このようなことから、本調査研究では、高齢者の就労を促進するため、高齢者の就労が可能な分野・部門・職種を把握し、その分野等において必要とされる職業能力を抽出するとともに、高齢者が培ってきた知識や経験を活かしながら就労するために効果的な職業訓練のあり方について、検討を行っております。

このたび、上記研究の一環として、高齢者就労に向けた職業能力開発のあり方について在職者の皆様のお考えを伺うために、本アンケート調査を株式会社三菱総合研究所に委託し実施することになりました。

いただいたご回答はすべて統計的に処理しますので、個々の調査結果が公表されることは一切ございません。ご記入いただいた調査票は、**返信用封筒（切手不要）にて平成12年12月22日（金）まで**に、各自ご投函くださいますよう、お願いいたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、何卒ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

調査主体

職業能力開発総合大学校
能力開発研究センター

調査実施機関【問い合わせ先】

株式会社三菱総合研究所

労働省委託調査

個人調査

高齢者がいきいきと働き続けていくための 職業能力開発のあり方についてのアンケート

．はじめに、あなたのことについてお伺いします。

問1 あなたの年齢と性別をお教えてください。

(1) 年齢 () 歳

(2) 性別 1.男性 2.女性 (あてはまる方に 印をつけてください)

問2 あなたの勤めている会社の業種は何ですか。(1つだけ選んで 印をつけてください)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 . 建設業 | 3 . 運輸業 |
| 1-1 総合工事(土木工事含む) | 4 . 通信業 |
| 1-2 職別工事 | 5 . 卸・小売業 |
| 1-3 設備工事(電気、通信含む) | 6 . 情報処理、ソフトウェア開発業 |
| 1-4 その他の建設業
(具体的に_____) | 7 . 対事業所サービス業
(放送、新聞、出版 など) |
| 2 . 製造業 | 8 . 専門サービス業
(法律、特許、会計、建築設計、
コンサルタント など) |
| 2-1 食料品、飲料・飼料、たばこ | 9 . 医療、社会福祉 |
| 2-2 繊維、衣服、その他繊維製品 | 10 . その他
(具体的に_____) |
| 2-3 パルプ・紙・紙加工品 | |
| 2-4 化学工業、石油製品・石炭製品、
プラスチック製品製造 | |
| 2-5 鉄鋼業、非鉄金属、金属製品 | |
| 2-6 一般機械器具製造 | |
| 2-7 電気機械器具製造 | |
| 2-8 輸送用機械器具製造 | |
| 2-9 精密機械器具製造 | |
| 2-10 その他の製造業
(具体的に_____) | |

問3 あなたは現在どのような仕事の分野を担当していますか。(1つだけ選んで 印をつけてください)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 専門的部門</p> <p>1-1 管理職</p> <p>1-2 技術者、研究開発、調査企画</p> <p>1-3 法務・特許（弁護士・会計士など）</p> <p>1-4 その他の専門・技術的職業の仕事
（システムエンジニアなどを含む）</p> <p>2. 事務部門</p> <p>2-1 総務・経理など事務部門の管理職</p> <p>2-2 事務一般</p> <p>2-3 営業・販売支援部門</p> <p>2-4 その他の事務部門
（具体的に_____）</p> <p>3. 営業・販売部門</p> <p>3-1 管理職</p> <p>3-2 営業、販売一般</p> <p>3-3 その他の営業・販売部門
（具体的に_____）</p> | <p>4. 生産部門</p> <p>4-1 管理職</p> <p>4-2 生産・建設・土木の監督的な仕事</p> <p>4-3 生産現業職（技能的な仕事）</p> <p>4-4 建設現業職（技能的な仕事）</p> <p>4-5 修理・保全の技能的な仕事</p> <p>4-6 その他の生産部門
（具体的に_____）</p> <p>5. その他の部門</p> <p>5-1 建物管理人・用務員・清掃</p> <p>5-2 商品・在庫管理、倉庫の仕事</p> <p>5-3 警備・守衛</p> <p>5-4 運転手</p> <p>5-5 その他
（具体的に_____）</p> |
|---|---|

問4 あなたの現在の仕事内容について具体的にご記入ください。

問5 あなたのこれまでの仕事に関わる経験を若い頃から順に、簡潔にご記入ください。また、取得している資格等があればご記入ください。

職 場（業種）	年数	仕事の内容（職種など）
（ここに記入してください）		
取得している資格		

・あなたがこれから、60歳以上になっても働くとした場合に、どのようにお考えになるかについてお教えてください。

問6 あなたが「働きたい職場」を下表の中から3つだけ選び、希望する順位を表の「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。

職場	順位
1) 通勤が楽な職場	
2) 現在の職場	
3) 現在の職場に関連する職場（子会社、グループ会社、取引会社等）	
4) 全く新しい職場	
5) 新しいことが学べる職場	
6) 過去にいたことがある職場	
7) 職場はこだわらない	
8) その他（ _____ ）	

問7 あなたが「やりたい仕事」を下表の中から3つだけ選び、希望する順位を表の「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。
但し、職場に関係なく回答して下さい。

職場・仕事	順位
1) これまでの経験を活かせる仕事	
2) 給料が高い仕事	
3) 興味や関心のある仕事	
4) これまでしていた仕事	
5) これまでと関連した仕事	
6) これまでしていた仕事と全く違う仕事	
7) 仕事内容にはこだわらない	
8) その他（ _____ ）	

問 8 あなたはどのようなことを仕事に期待して働きますか。下表の中から3つだけ選び、希望する順位を表の「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。

仕事に期待すること	順位
1) 経験を活かせる	
2) 生活資金を得る	
3) 自分の夢の実現や趣味活動の資金を得る	
4) はりのある充実した生活を送る	
5) 新しい人間関係	
6) 社会や人に役立つことができる	
7) 自立の喜びを得る	
8) 新しいことを学べる	
9) 健康のためによい	
10) 退職後の不安定さから解放される	
11) その他 (_____)	

問 9 あなたが「働く上で不安と気がかりに思うこと」は、どのようなことでしょうか。下表の中から3つだけ選び、その順位を表の「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。

働く上で不安と気がかりに思うこと	順位
1) 自己の能力・資質を活かせるか	
2) 自己の能力・資質が不足していないか	
3) 自己の健康が維持できるか	
4) 生活を維持することができるか	
5) 家庭との調和・調整が図れるか	
6) 就職できるかどうか	
7) 技術の進歩・業務のIT化などに対応できるか	
8) その他 (_____)	

問10 あなたが働く上で、「就職先に対して不安と気がかりに思うこと」はどのようなことでしょうか。下表の中から3つだけ選び、その順位を表の「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。

就職先に対して不安と気がかりに思うこと	順位
1)ハード（内容もしくは体力的）な仕事ではないか	
2)人間関係がうまくゆくか	
3)給料がどのくらい確保できるか	
4)自己の能力・資質を活かせるか	
5)家庭との調和・調整が図れるか	
6)その他（_____）	

問11 あなたにとって「不安なく再就職し、生き生きと働くために必要なこと」はどのようなことでしょうか。下表の中から3つだけ選び、その順位を「順位」欄に1、2、3の数字で回答して下さい。

不安なく再就職し、生き生きと働くために必要なこと	順位
1)身近に健康面、精神面の相談がいつでもできる体制がある	
2)指導者・上司の理解と受け入れがある	
3)家族の理解と協力がある	
4)仕事に必要な能力開発が受けられる	
5)共に働く高齢者間の交流の機会がある	
6)公的な高齢者雇用・能力開発支援システムがある	
7)その他（_____）	

問12 あなたはどのような勤務形態を希望しますか。「就業形態」「働く日数」「時間帯」のそれぞれについて、希望する内容を 印で囲んでください。

(1) 就業形態 1.正社員 2.嘱託 3.派遣 4.その他（具体的に_____）

(2) 働く日数 1.週5日以上 2.週3日程度 3.その他（具体的に_____）

(3) 時間帯 1.一日 2.午前半日 3.午後半日
4.その他（具体的に_____）

問13 あなたが高齢者（60歳以上）になって働く場合、どのような仕事の分野を担当したいと考えますか。（該当するものすべてに 印をつけてください）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1．専門的部門 | 4．生産部門 |
| 1-1 管理職 | 4-1 管理職 |
| 1-2 技術者、研究開発、調査企画 | 4-2 生産・建設・土木の監督的な仕事 |
| 1-3 法務・特許（弁護士・会計士など） | 4-3 生産現業職（技能的な仕事） |
| 1-4 その他の専門・技術的職業の仕事
（システムエンジニアなどを含む） | 4-4 建設現業職（技能的な仕事） |
| 2．事務部門 | 4-5 修理・保全の技能的な仕事 |
| 2-1 総務・経理など事務部門の管理職 | 4-6 その他の生産部門
（具体的に_____） |
| 2-2 事務一般 | 5．その他の部門 |
| 2-3 営業・販売支援部門 | 5-1 建物管理人・用務員・清掃 |
| 2-4 その他の事務部門
（具体的に_____） | 5-2 商品・在庫管理、倉庫の仕事 |
| 3．営業・販売部門 | 5-3 警備・守衛 |
| 3-1 管理職 | 5-4 運転手 |
| 3-2 営業、販売一般 | 5-5 その他
（具体的に_____） |
| 3-3 その他の営業・販売部門
（具体的に_____） | |

問14 問13に関し、具体的なご希望がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

この調査に関しまして、感じられたことをご自由にお書きください

返信用封筒（切手は不要です）にて12月22日（金）までにご投函ください。